



上山小学校「風のたより」

令和5年6月15日(木) 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、
自らの未来を切り拓く児童を育成する



命を育むこと！

命の話をする、ついネガティブな話になるのですが、「生きる」ことを強く願って生き抜いた少女に出会ってから、一日一日を懸命に生きることの大切さを学びました。時には自暴自棄になって、「何もかもいやだ！」と思うこともありますが、明けない夜はないといいます。希望を胸に共に生きていきましょう。



さて、13日から「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を行っております。14日(水)に2年生が「芋の苗植え」を行いました。もちろん地域の皆様のご協力をいただきながら実施いたしました。地域の皆様がおっしゃるには、「大きくなれよ！」と苗に話しかけながら植えると立派な芋になるということです。命を育むには、テクニックや知識なども必要ですが、ひと・もの・ことに寄り添う気持ちが一番大切なんだと改めて感じた次第です。そして、自分にも優しくならないといけませんね(*^^*)



おはじり

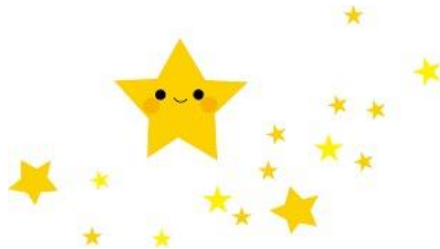
金子みすゞ

空いっぱいのお星さま、
きれいな、きれいな、おはじりよ。

ぼらり、とおはじり、撒きました、
どれから、取ってゆきましょうか。

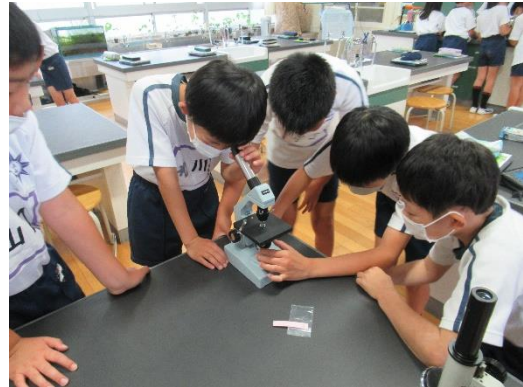
あの星
はじいて
こう当って、
あれから
あの星
こう取って。

取っても取ってもなくならぬ、
空のおはじり、お星さま。



学校と家庭 学力向上! ()/

4月から大きな行事が続いていましたので、あっという間の2か月でした。そのような中でも、子どもたちは授業に臨み、時には担任の先生方に気合いを入れられながら^^;奮闘しております。



私が授業を参観しながら、また、担任の先生方との会話の中でよく話題に上がるのが、「**学びに向かう力**」が不足しているのではないかということです。所謂、

学習意欲不足ということです。原因はいくつか考えられます。一つ目は、これまでの知識・理解が十分でなかったということです。既習事項が分からないことには、授業に臨む意欲はわいてきません。二つ目は、体調不良による意欲減退です。寝不足や疲れがあると授業に集中することはできません。規則正しい生活がポイントとなります。三つ目は、準備不足です。忘れ物をして、学習用具がそろわなかったり、宿題をしていなかったりすると学びをスタートすることすらできません。

他にも原因はあると思われませんが、お気づきのように、どの問題を解決するためにも「学校と家庭」の連携が必要であるということです。学校だけで解決できる問題ではなく、両者が相互理解し合いながら、子どもの成長を支えなければならないことは明確です。子どもの「**学びに向かう力**」を育てるために、家庭で行わなければならないことは、担任からお知らせいたしますので、どうぞ協力いただきますようよろしくお願いいたします。



余談ですが、学校では、「**深い学び**」を追求しています。主体的な学びとなるように、身近で興味を持てる素材を授業に取り入れます。そして、ひと・もの・こと等との対話を重視しながら思考したり、判断したり、表現したりする活動を取り入れていきます。それを踏まえて、「**深い学び**」とするために、これまでに学んだり、生活の中で経験したりしたことと授業内容を関連づけることを行い、一方的に教え込むスタイルの授業から連続性のあるスタイルの授業を進めるよう心掛けています。御家庭にお願いすることは、子どもたちが**今何を学んでいるのか**を知っていただき、話題にあげていただきたいということです。お願いばかりで申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

☆上山小のHP「スミレだより」毎日更新しています。QRコードもご利用ください。